

I'M 市立伊丹ミュージアム

Itami City Museum of Art, History and Culture

利用案内

江戸時代には「酒のまち」として繁栄し、文人墨客が訪れる文化の香り高いまちとして知られる伊丹市。その中心市街地である宮ノ前地区に、2022年4月、市立伊丹ミュージアムは開館しました。もともこの地にあった柿衛文庫(1984年開館)・伊丹市立美術館(1987年開館)・伊丹市立工芸センター(1989年開館)・伊丹市立伊丹郷町館(2001年開館)と、移転した伊丹市立博物館(1972年開館)が統合することで、芸術・文化・歴史の総合的な発信拠点として生まれ変わりました。美術・工芸・俳諧俳句・歴史の多分野におよぶ資料の収集保存と活用、多彩な展覧会や講座、文化財に指定された建造物の継承・公開を行っています。

About Museum

開館時間 | 10:00-18:00 (入館は17:30まで)

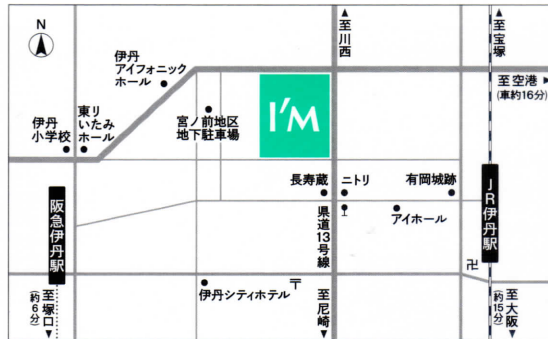
休館日 | 月曜日 (祝日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始 (12/29-1/3)

*展覧会については展示入替期間があります。

観覧料

- 展示内容により観覧料は異なります。
- 歴史常設展示 (展示室4) は観覧無料
- 旧岡田家住宅・酒蔵、旧石橋家住宅は入場無料 (ただし貸室利用時を除く)。

I'M 市立伊丹ミュージアム
Itami City Museum of Art, History and Culture



[交通案内]

- 阪急伊丹駅より北東へ徒歩約9分
- JR伊丹駅より北西へ徒歩約6分
- 阪急バスの伊丹中央停留所より北へ徒歩約3分
- * 専用駐車場はありません。宮ノ前地区地下駐車場 (有料) をご利用ください。

市立伊丹ミュージアム

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前2-5-20

Tel. 072-772-5959 (代表)

<https://itami-im.jp/>



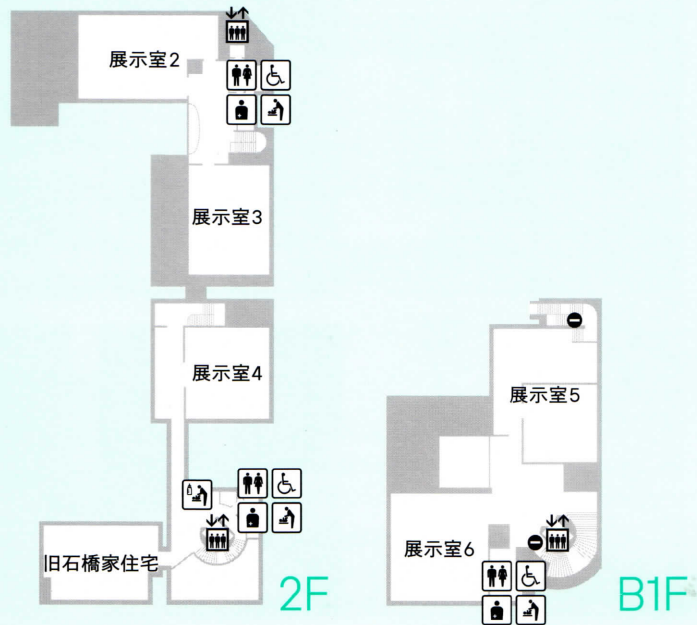
Floor Map



- 総合案内
- チケット受付
- トイレ
- 車椅子用トイレ
- オストメイト
- おむつ台
- ベビーケアルーム
- エレベーター



1F



2F

B1F



展示室

展示室1(1階)、展示室2・3・4(2階)、展示室5・6(地下1階)では、美術・工芸・俳諧俳句・歴史の多彩な分野の展覧会を開催しています。歴史常設展示(展示室4)では、縄文時代晩期に市域で稲作が行われていたことを示す浅鉢や戦国時代の有岡城の様々な遺物、江戸時代に酒造りで栄えた伊丹の様子を伝える古文書など、伊丹市の歴史にまつわる資料等をご覧いただけます。

伊丹郷町クラフトショップ

旧石橋家住宅1階にある伊丹郷町クラフトショップでは、全国で活躍する工芸作家のクラフト作品を展示販売しています。伊丹国際クラフト展入賞・入選者の作家の作品を、普段の暮らしや贈りものにお選びください。陶芸・ガラス・漆・染織・ジュエリーなどのクラフト作品のほか、展覧会図録やオリジナルグッズの販売や、季節にあわせたフェアも実施しています。



俳諧・俳句ひろば

俳諧・俳句の面白さをわかりやすく伝える無料エリア。日本三大俳諧コレクションの一つである公益財団法人柿衛文庫が所蔵する代表的な作品やその作者を解説するコーナー、俳句やくずし字をクイズ形式で遊びながら学べるタッチモニターなど、どなたでも気軽に楽しみながら俳諧・俳句に親しんでいただけます。



アトリエ

織機、銅版画用プレス機、電動ロクロ、染色スペースなど、多彩な道具と設備を備えたアトリエ。染織、陶芸、版画、デッサンなどの実技講座や、子ども向けワークショップ、体験講座などを実施しております。ジュエラーベンチとジュエリー工具もそろえ、年間を通したジュエリー関連講座も行っています。



日本庭園

日本を代表する作庭家・重森完途が設計し、完途の跡を継ぐ重森青千によって一部の改修がされた日本庭園が敷地内に広がっています。白砂は「清酒発祥の地」である伊丹にちなみ、井泉や湧水、清流を表しており、石組や植栽は新しい着想から生まれた「伊丹風俳諧」から発想したと云います。新しさと古典が融合した美しい日本庭園です。

Facilities & Collections

旧岡田家住宅・酒蔵

伊丹市内において最古であり、全国的にも数少ない17世紀の町家である旧岡田家住宅は、江戸時代に栄えた伊丹の酒造りを今に伝える遺構としても貴重な建物です。正面に店舗、奥に酒蔵、その間に釜屋・洗い場が並んでいます。この蔵では、「松緑」「富貴長」「大手柄」などが醸造されていました。



貸室利用のご案内

旧岡田家住宅・酒蔵(国指定重要文化財)及び旧石橋家住宅(県指定有形文化財)の一部を貸室としてご利用いただけます。文化財であることにご留意の上、活用ください。

●施設及び付属設備利用料
利用料(開館日の10:00~18:00/1時間につき)

旧岡田家住宅 酒蔵	1,500円
定員100名(237m ²)、テーブル・椅子	
・音響装置(ワイヤレスマイク2本)	200円
・プロジェクター(天吊り固定、スクリーン含む)	500円
・スクリーン(天吊り固定)	100円

旧石橋家住宅 1階和室	300円
定員20名(10畳+8畳)、座卓・座布団	

旧石橋家住宅 2階和室	250円
定員10名(10畳)、座卓・座布団	

※上記利用料の対象は伊丹市内(宝塚市、川西市、三田市、猪名川町含む)在住の利用者です。市外在住の利用者は1.5倍、営利団体(企業等)または営利目的での利用は1.5倍、その両方に当てはまる場合は2.25倍の割増料金となります。
※旧石橋家住宅1階和室のみ10畳用の空調設備がありますが、他はありません。



旧石橋家住宅

江戸時代後期に建てられた町家。正面には摺り上げ大戸やばったり床几(揚見世)、出格子がはめ込まれており、つし2階には4か所に虫籠窓が設けられ、軒まで白壁で塗り込められています。石橋家は17世紀後期に初代が八百屋(よろずや)を開業したのがはじまりとされ、明治以降は紙・金物等の小売業と酒造業を兼業し、その後、日用品の雑貨商を営みました。

コレクション

旧・伊丹市立美術館が収蔵した「諷刺とユーモア」をテーマとする約9千点の美術作品資料、旧・伊丹市立博物館が収蔵した伊丹市の歴史・民俗などに関する郷土資料約16万点を基礎に、市立伊丹ミュージアムでは美術・工芸・歴史の分野におよぶ作品資料を収集しています。さらに展覧会では、公益財団法人柿衛文庫が収集する俳諧俳句の作品資料も加え、より幅広い芸術文化の発信と継承に努めています。

- 1 オノレ・ド・ミーエ《ドン・キホーテとサンチョ・パンサ》油彩、1850-52年
- 2 ラウル・デュフィ《アンフィトリテ(海の女神)》油彩、1936年
- 3 《荒木村重錦絵(太平記英勇伝)》1850年頃版行
- 4 《伊丹酒造 米あらひの図(日本山海名産図会)》1799年版行
- 5 松尾芭蕉筆「ふる池や」句短冊、1686年
公益財団法人柿衛文庫蔵
- 6 上島鬼貫筆「よっぽりと」句一行物、1686年
公益財団法人柿衛文庫蔵

